

7月9日 (日)

会議棟 第1会場 (2F:大ホール)

会員総会 8:30~9:10

シンポジウム3 9:10~11:10

P.233~240

ストーマ保有者の在宅療養生活を支援する体制を考える
～ストーマ外来と訪問看護の現場における現状と課題～

座長：松原 康美 北里大学 看護学部
渡邊 光子 関西労災病院 看護部

S3-1 急性期病院のストーマ外来と地域との連携における現状と課題

演者：渡邊 光子 関西労災病院 看護部

S3-2 ストーマ保有者が在宅療養をする上での訪問看護師の課題

演者：清水けい子 小田原市立病院 看護部

S3-3 訪問看護師が行う継続ケア～ストーマセルフケア指導の継続は、訪問看護師にお任せください

演者：濱元 佳江 nagomi 堺鳳訪問看護ステーション

S3-4 ストーマ保有者を地域で支援するために必要なこと

演者：大内 淑子 公益社団法人宮城県看護協会栗原訪問看護ステーション

S3-5 WOC 領域における看護専門外来と在宅医療との連携

演者：土田 敏恵 兵庫医科大学 看護学部 看護学研究科

特別講演4 11:20~12:20

P.179~181

Paradigm Shift～未来の創造、故郷の酒～

座長：真田 弘美 石川県立看護大学 学長
演者：佐々木 洋 有限会社佐々木酒造店 専務取締役

ランチョンセミナー7 12:30~13:30

P.436

“車いす用クッション”と“床ずれ防止マットレス”の未来への躍進

座長：真田 弘美 石川県立看護大学 学長

新時代の車いす用クッション

演者：高野 学 株式会社モルテン

新時代の床ずれ防止マットレス

演者：三村 真季 株式会社モルテン

共催：株式会社モルテン

レジェンドからのメッセージ

座長：海野 倫明 東北大学大学院医学系研究科 外科病態学講座 消化器外科学分野
柴崎 真澄 サンセイ医機株式会社 営業本部 オストミー担当

私が伝えたい WOC 領域の真髄と期待

演者：品田ひとみ グンゼメディカル株式会社 マーケティング部

夢を実現する勇気を

演者：徳永 恵子 宮城大学名誉教授

WOC ナースとして自己のキャリア開発はこれでよかったのか？
—うまくいったことうまくいかなかったこと—

座長：熊谷 英子 在宅 WOC センター/仙台エコー医療療育センター 看護療育部

32Fes. これまでとこれから～人生の転機をどう乗り越えていけるか？～

演者：田中 秀子 湘南医療大学 保健医療学部 看護学科

子どもと家族にエールをおくる WOC ナース活動

演者：鎌田 直子 兵庫県立こども病院 看護部

地域での WOC ナース活動を通して

演者：大塚真由美 船橋市立医療センター 看護局

「仲間を増やす」 WOC ナース活動

演者：柳井 幸恵 総合病院山口赤十字病院 看護部

会議棟 第 2 会場 (2F:橘)

褥瘡ケアのパラダイムシフトからの看護教育システム研究の変遷

座長：田中マキ子 山口県立大学 学長

演者：真嶋由貴恵 大阪公立大学大学院 情報学研究科

在宅褥瘡から護る～床ずれ予防プログラムというもの～

座長：塚田 邦夫 高岡駅南クリニック 院長

演者：岡田 克之 桐生厚生総合病院

ランチョンセミナー 8 12:30~13:30

保湿ケアのさらなる浸透を目指して

座長：佐藤 文 川崎市立看護大学 看護学部

保湿の基礎と最新知見

演者：平尾 哲二 武庫川女子大学 薬学部

保湿ケアを院内に浸透させる工夫～継続教育への取り組み～

演者：前田 愛 医療法人財団東京勤労者医療会 東葛病院 看護部

共催：アルケア株式会社

一般演題 (口演) 9 排泄ケア 1 排尿自立 13:40~14:40

座長：谷口 珠実 山梨大学大学院総合研究部 医学域看護学系 看護学講座

菊地 香織 地方独立行政法人市立秋田総合病院 看護部

09-1 排尿ケアチーム活動の現状と課題

大東 摩保 川崎医科大学総合医療センター

09-2 A 病院における排尿ケアチームの現状と課題

假屋 真帆 国立病院機構 大阪医療センター

09-3 排尿自立支援加算の取り組みと今後の課題

佐藤 南 鶴岡市立荘内病院 看護部

09-4 人工骨頭置換術後に発症した尿路感染症に対する予防への取り組み
～排尿自立支援介入を通して～

武田紗代子 三豊総合病院

09-5 新たな骨盤底筋体操プログラムおよび運用アルゴリズムの試作
—患者背景に合わせた効果的な指導に向けて—

竹内 雅史 東北大学病院 リハビリテーション部門

09-6 自宅退院が難しいと思われていた排尿障害患者の退院支援の取り組み

政田 美喜 三豊総合病院

座長：吉田美香子 東北大学大学院医学系研究科 ウィメンズヘルス・周産期看護学
平山千登勢 杏林大学医学部附属病院 看護部

- 10-1 経尿道的膀胱腫瘍切除術後の下部尿路機能障害の程度と排尿状態の経時的な変化
井上 瞳 大阪府済生会中津病院 看護部
- 10-2 ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術後の排尿管理
丹波 光子 杏林大学医学部附属病院
- 10-3 蓄尿障害を有している患者に対して、排尿日誌を活用し QOL の変化に繋がった症例の報告
小笠原雅巳 医療法人社団善衆会 善衆会病院
- 10-4 糖尿病性神経因性膀胱患者の排尿管理を振り返る
古川きよみ 能美市立病院
- 10-5 就労女性の尿失禁の特徴と職場環境
喜多村定子 佐久大学
- 10-6 家族介護者の排泄介助に関する身体・精神・経済的負担感と各負担感を構成する症状と介助内容
正源寺美穂 金沢大学医薬保健研究域保健学系

会議棟 第3会場 (2F: 萩)

令和6年度診療報酬改定に向けた本学会からの提案

座長：渡邊千登世 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科
谷口 珠実 山梨大学大学院総合研究部 医学域看護学系 看護学講座

排尿自立支援加算・外来排尿自立指導料の算定要件拡大と名称変更の提案： 包括的排便ケアによる排泄自立支援

演者：松本 勝 石川県立看護大学 看護学部

「在宅患者訪問看護・指導料3」の算定要件拡大の提案：ICTによる遠隔での同行訪問

演者：北村 言 東京大学大学院医学系研究科 看護管理学/看護体系・機能学分野

小規模病院と皮膚・排泄ケア認定看護師の連携がもたらす効果

演者：稲田 浩美 日本医科大学付属病院 看護部

企画：社会保険委員会

Wound Hygiene～適切なドレッシング選択講座～

座長：日野岡蘭子 旭川医科大学病院 看護部

演者：匂坂 正信 医療法人 匂坂会 サキサカ病院 形成外科・美容外科/
熊本労災病院 循環器内科 足壊疽班

渡邊 朋子 医療法人 松寿会 共和病院

共催：センチュリーメディカル株式会社

理事会企画 5 13:40~14:40

研究倫理に強くなろう！倫理指針・ガイドンスの改正ポイントをやさしく解説します

座長：幸田 圭史 帝京大学ちば総合医療センター 外科

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の変更点とポイント

演者：貝谷 敏子 札幌市立大学 看護学部

学会倫理審査申請の改正ポイントと倫理申請書作成について

演者：加瀬 昌子 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

論文の倫理要点

演者：酒井 透江 杏林大学 保健学部 看護学科

企画：倫理・メンバーシップ委員会

スイーツセミナー 2 14:50~15:50

ケアの質も効率も諦めない スキンケアの新常識！
—より簡単・より短時間・より継続できる陰部洗浄・おむつのイノベーション—

座長：溝上 祐子 東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科

これからのあらゆる場で求められる！効率性を追求したスキンケア

演者：溝上 祐子 東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科

予防発想！肌トラブルリスクを減らす最新のおむつ・ケア用品

演者：田中淳一郎 ユニ・チャーム株式会社

共催：ユニ・チャーム株式会社

会議棟 第4会場 (2F:桜1)

一般演題 (口演) 11 排泄ケア 3 排便障害 9:10~10:10

P.356~358

座長：天江新太郎 仙台エコー医療療育センター 外科

小柳 礼恵 藤田医科大学 保健衛生学部 看護学科/藤田医科大学 社会実装看護創成研究センター

- 11-1 高度急性期病院における入院患者の便秘有病率調査
佐野 友香 藤田医科大学 大学院 保健学研究科/藤田医科大学病院
- 11-2 当院における排便障害がある患者へのケア介入の実態と課題
中村 徳子 金沢医科大学病院
- 11-3 慢性便秘症患者の排便日誌を用いた排便コントロール法の取り組み
念垣 真衣 竹の塚脳神経リハビリテーション病院
- 11-4 便失禁患者に対する骨盤底筋訓練指導の多職種での協働
鎌田さおり 仙台赤十字病院 看護部
- 11-5 嚥下調整食を摂取している患者の便の粘性のラインスプレッドテスト法による測定実施可能性
西本 由美 国民健康保険小松市民病院 看護部/藤田医科大学大学院 保健学研究科
- 11-6 食物繊維高配合流動食の使用経験に基づく医療従事者を対象とした市販後アンケート調査
中島 淳 横浜市立大学大学院医学研究科 肝胆膵消化器病学教室

一般演題 (口演) 12 教育・指導 10:15~11:15

P.359~361

座長：永野みどり 東京慈恵会医科大学 医学部 看護学科

小玉 光子 秋田看護福祉大学看護学科

- 12-1 褥瘡管理者の横断的活動を振り返り見えてきた課題～相談方法をシステム化して～
清宮 美詠 北里大学病院
- 12-2 非侵襲的陽圧換気療法における医療機器関連圧迫創傷の予防意識の向上を目指した勉強会の効果
武山 正太 千葉県循環器病センター ICU
- 12-3 皮膚脆弱モデル教材を使用したスキン-テア予防の授業効果
宮永 葵子 金沢医科大学 看護学部
- 12-4 A 病院外科病棟でのストーマケア統一を目指して
成田 知佳 岩手県立久慈病院
- 12-5 ストーマ造設後の円滑な退院支援を目指して
稲田ゆかり 白河厚生総合病院
- 12-6 アンケート調査から見えてきたおむつマイスター受講修了者の課題
佐々木伸子 JA 秋田厚生連 能代厚生医療センター

これからは皮膚障害も予防の時代へ
～臨床で活躍する WOCN によるディスカッション～

座長：小林 智美 社会医療法人河北医療財団 河北総合病院 看護統括部

演者：安藤 共和 公益財団法人仙台市医療センター 仙台オープン病院 総合支援室

櫻井三希子 地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立西神戸医療センター 看護部

土田 学 学校法人東京医科大学 八王子医療センター 看護部

谷澤 伸次 筑波大学附属病院 看護部

共催：株式会社ホリスター

一般演題（口演）13 地域包括ケア/在宅医療・看護 13:40~14:40

P.362~364

座長：南 由起子 サンシティ横浜南 健康相談室

内藤亜由美 東京医療保健大学 立川看護学部

○13-1 皮膚・排泄ケア特定認定看護師による地域横断的な活動への取り組み

藤平 舞 医療法人社団威風会栗山中央病院 看護部

○13-2 特定行為研修を修了した皮膚・排泄ケア認定看護師が介入し、深い褥瘡がある高齢者を自宅で看取った一例

大内 淑子 公益社団法人宮城県看護協会 栗原訪問看護ステーション

○13-3 家族の負担軽減のため、夜間の体位変換を行わずに在宅へもどり褥瘡予防できた要介護5の一事例

播磨 孝司 さっぽろ在宅医療クリニック 訪問リハビリテーション科

○13-4 管理困難ストーマの在宅管理～訪問 WOCN との連携～

小田恵美子 JR 東京総合病院

○13-5 紫雲膏・亜鉛華デンプン療法により在宅療養に移行できた皮膚浸潤を伴う甲状腺がんの一例

印幡 香 富山赤十字病院 看護部

○13-6 在宅高齢者に対する介護予防訪問にベルト電極式骨格筋電気刺激法を使用した効果の検討

別所 大介 訪問看護ステーション APOLLO

座長：小野寺直子 岩手県立久慈病院 看護事務室
村田 博子 東北医科薬科大学病院 看護部

○14-1 外来化学療法による皮膚障害に伴い難治性踵創傷を発生した一例

浅野 歩美 財団法人仙台市医療センター 仙台オープン病院 看護部

○14-2 乳がん自壊創に放射線性皮膚炎が合併した患者のセルフケア支援

梶田 志帆 独立行政法人国立病院機構九州がんセンター

○14-3 乳がん皮膚浸潤による自壊創のセルフケアを支援した一例

水島 史乃 藤枝市立総合病院 緩和ケアセンター

○14-4 終末期患者の疼痛に配慮した乳癌自壊創ケアについて

江頭 奈美 トヨタ記念病院 東病棟 5階

○14-5 気管切開部周辺の自壊創に対してモーズペースト処置が奏功した1例

高橋 純 千葉県がんセンター

○14-6 高齢者乳癌術後の創部離開に対する局所陰圧閉鎖療法による創傷管理

藤原恵美子 淀川キリスト教病院 看護スペシャリスト室

会議棟 第5会場 (3F:白櫃)

ハンズオンセミナー 2 10:10~11:10

P.423

創傷衛生/ウンド・ハイジーン 4STEP 60分カンタンマスター

座長：市岡 滋 埼玉医科大学病院 形成外科

演者：加瀬 昌子 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院 スキンケア相談室

共催：ビー・ブラウンエースクラブ株式会社

ランチョンセミナー 11 12:30~13:30

P.440

ストーマ保有者の排泄管理、生活支援を考える：リスクファクターモデルによる
アセスメント

座長：紺家千津子 石川県立看護大学 看護学部

演者：安藤 嘉子 日本赤十字社 大阪赤十字病院 看護部

共催：コロプラス株式会社

座長：渡邊 光子 関西労災病院 看護部
大川 恵美 三重県立総合医療センター 看護部

- 15-1 入退院支援加算算定後に関わった重度褥瘡患者への介入
足立さゆり 藤田医科大学岡崎医療センター 看護部
- 15-2 短期間の再入院で著しく悪化した褥瘡 2 事例の考察と課題
金村 恵 大阪府済生会吹田病院
- 15-3 強皮症の PAH 患者に対するプロスタグランジン I2 誘導体制剤持続皮下投与療法の
在宅管理移行への支援
阿部 稜子 岩手医科大学附属病院
- 15-4 フットケア外来における多職種連携と皮膚・排泄ケア特定認定看護師の役割
竹之内美樹 総合病院 土浦協同病院
- 15-5 尿路ストーマオリエンテーションのシステム作り
—外来・病棟看護師のシームレスなケアを目指して—
齋藤 敦己 公益財団法人 星総合病院 看護部
- 15-6 ストーマ周囲に生じた壊疽性膿皮症による難治性潰瘍が早期介入・上皮化に至った
2 症例についての報告
高木 美那 東京都健康長寿医療センター

座長：山口みどり なごみ訪問看護ステーション
小田切宏恵 老人保健施設 ヴィラ加賀野

- 16-1 近隣施設 WOCN の連携効果～認定看護師の役割を学び、地域のケアにつなげる～
吉岡 千種 大阪府済生会茨木病院
- 16-2 訪問看護師と連携し在宅生活が可能となった仙骨部難治性褥瘡患者の 1 症例
浜村 優子 雲南市立病院 看護機能推進室
- 16-3 臀部壊死性筋膜炎を発症した患者への早期創傷管理介入で在宅療養に繋がった 1 症例
小野寺喜代 岩手県立磐井病院
- 16-4 地域連携により治癒に至った複数個所の足潰瘍症例
猿田真紀子 秋田県立循環器・脳脊髄センター
- 16-5 遠隔コンサルテーションアプリを用いたフットケア相談の効果
—「Join 足ケアナビ用」を試用して—
山家 正美 公立刈田総合病院/宮城県フットケア研究会
- 16-6 トリプルストーマ、腹部に瘻孔形成した終末期患者の転院に向けて地域と連携した
一事例
杉本はるみ 社会医療法人仁友会南松山病院

展示棟 第6会場（展示室1）

理事会企画6 9:40~11:10

P.273~278

認定看護師として進化を続けるための戦略～第2弾～

座長：溝上 祐子 東京医療保健大学 医療保健学研究科 医療保健学専攻
渡辺 光子 日本医科大学千葉北総病院 看護部

皮膚・排泄ケア特定認定看護師としての活動推進の壁、乗り越えるための秘訣

演者：吉田 李生 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 看護部

ここまでできる！足病ケア～特定行為で広がる実践活動～

演者：菊池 絵里 国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 看護部/心臓血管外科

WOCの未来を拓け 特定・認定看護師の挑戦

演者：鈴木 由加 千葉県循環器病センター 看護局

活動調査報告：酒井 宏子 佐賀大学医学部附属病院 看護部

企画：認定看護師委員会

ランチョンセミナー12 12:30~13:30

P.441

自動体位変換機能付エアマットレスを究める知恵と技～実演を通して～

座長：田中マキ子 山口県立大学 学長

演者：柳井 幸恵 総合病院山口赤十字病院 看護部

内山 啓子 スペアポケット株式会社

澤井 尚子 AOI ケアリングステーション

共催：パラマウントベッド株式会社

理事会企画7 13:40~14:40

P.279~283

未来を紡ぐために私たちにできること～WOC領域の災害支援のあり方～

座長：片岡ひとみ 山形大学 医学部 看護学科

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会における災害対策の歩みとこれからの災害支援体制

演者：糀山こずえ 大宮胃腸内科クリニック WOC 外来

学会としての災害支援～褥瘡学会の場合～

演者：石井 義輝 医療法人真鶴会小倉第一病院 形成外科

日本創傷・オストミー・失禁管理学会の災害対応への取り組み

演者：柳迫 昌美 原三信病院 看護部

企画：災害対応委員会

「岡部と間宮のここだけの話！」本日開業！おむつ外来

座長：間宮 直子 大阪府済生会吹田病院 看護部

演者：岡部 美保 在宅創傷 スキンケアステーション 代表

共催：王子ネピア株式会社

展示棟 第7会場（会議室1・2）

一般演題（口演）17 創傷ケア6 フットケア 9:10~10:10

P.374~376

座長：丹波 光子 杏林大学医学部付属病院 看護部

木村 英子 十和田市立中央病院 看護管理室

- 17-1 在宅下肢創傷医療の実態調査：第1報 皮膚・排泄ケア認定看護師の困難経験
飯坂 真司 淑徳大学看護栄養学部
- 17-2 在宅下肢創傷医療の実態調査：第2報 皮膚・排泄ケア認定看護師の理解度
畠山 誠 溪和会 江別病院
- 17-3 創傷管理に変化がない保存的治療という時期を支える支援：
膠原病の下肢壊疽の患者から学ぶこと
伊藤 麻紀 日本赤十字社医療センター
- 17-4 虚血性皮膚潰瘍に関する創傷関連痛を軽減する要因
丸谷 晃子 金沢大学附属病院看護部/金沢大学医薬保健研究域保健学系
- 17-5 局所陰圧閉鎖療法を使用するタイミングの検討
佐藤 義邦 公益財団法人 星総合病院 看護部
- 17-6 爪下血腫後の爪甲剥離に関連した変形爪予防に対する人工爪形成の有効性について
佐久間ともみ 公益社団法人地域医療振興協会 公立黒川病院

座長：柳迫 昌美 原三信病院 看護部
志村 知子 日本医科大学付属病院

- 18-1 COVID-19 院内集団感染による褥瘡発生の現状とその対策について
伊勢谷祐樹 独立行政法人国立病院機構函館病院
- 18-2 COVID-19 禍での褥瘡有病率上昇における褥瘡リンクナースへの指導方法変換の
取り組み
小久保恵理 山梨大学医学部附属病院
- 18-3 COVID-19 専用病棟における間接的介入での創傷対応
佐藤 美絵 福島赤十字病院 看護部
- 18-4 COVID-19 感染症病棟に 2 度転棟しストーマ造設を決断するに至った一例
工藤 礼子 国立がん研究センター中央病院
- 18-5 COVID-19 に感染した患者のストーマ管理と患者・家族の QOL について振り返る
浅尾 希望 済生会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院
- 18-6 新型コロナウイルス感染症の拡大時の遠隔看護連携による褥瘡や創傷ケア相談の
取り組み
芦田 幸代 社会医療法人 敬和会 大分岡病院 看護管理室

座長：鎌田 直子 兵庫県立こども病院 看護部
室岡 陽子 武蔵野大学 看護部 看護学科 成人看護学

- 19-1 重症心身障害児・者で MDRPU を発症した 2 症例への取り組み
—発生要因のリスクアセスメントと多職種連携の重要性—
郷内 一恵 仙台エコー医療療育センター看護部
- 19-2 当院における重症心身障害児・者の耳部褥瘡の現状
～耳介の除圧と形状保持を目的とした穴開き枕の活用～
石田美樹子 社会福祉法人陽光福祉会 仙台エコー医療療育センター 診療部
- 19-3 小児集中治療室における医療関連機器圧迫創傷の発生状況
齋藤 弘美 宮城県立こども病院 PICU
- 19-4 ペリスティーン®プラスアナルイリゲーションシステム導入後の洗腸管理の変化
村山 佳菜 宮城県立こども病院
- 19-5 下半身麻痺にて発生した尾骨部の深い褥瘡を在宅で管理し改善した一例
佐藤貴美子 株式会社 SOERUTE 訪問看護ソエルテナーズ

座長：松岡 美木 埼玉医科大学病院 褥瘡対策管理室
齋藤優紀子 福島医科大学付属病院 看護部

- 20-1 皮膚・排泄ケア認定看護師・特定看護師（創傷管理関連）による
創傷の遠隔支援体制の構築
細谷 裕子 大崎市民病院
- 20-2 A 地域中核病院における皮膚・排泄ケア特定認定看護師の活動と今後の課題
木村 英子 十和田市立中央病院 看護局
- 20-3 褥瘡チームにおける特定行為終了後の皮膚・排泄ケア認定看護師の役割の深化
鈴木 華代 藤田医科大学 ばんだね病院
- 20-4 創傷分野における特定行為研修終了後の実践結果と課題
中川 明子 公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院 看護部
- 20-5 自宅退院を目標とした高齢患者の手術部位感染創に対する陰圧閉鎖療法の一例
大森 鮎子 藤田医科大学病院 看護部
- 20-6 指関節が露出した重度褥瘡に陰圧閉鎖療法を行った一事例
木村かおり 医療法人 一松堂医院 看護部

座長：畠山 誠 医療法人溪和会江別病院 看護部
平良智恵美 琉球大学医学部附属病院 看護部

- 21-1 在宅医療における認定看護師活動についての考察
木村かおり 医療法人 一松堂医院 看護部
- 21-2 皮膚・排泄ケア認定看護師によるオンライン褥瘡回診によりケア支援を受けた
看護師の思い
内潟 瑠菜 石川県立看護大学
- 21-3 皮膚・排泄ケア認定看護師のデータ分析が救急外来経由で入院した患者の褥瘡発生
低減に繋がった活動
西口 裕子 関西電力株式会社 関西電力病院 看護部
- 21-4 褥瘡管理者による創傷・オストミー・失禁ケアの業務整理
舟山 聡美 地方独立行政法人 市立秋田総合病院
- 21-5 がん患者のスキンケア実践状況と今後の課題
—皮膚・排泄ケア認定看護師/がん看護専門看護師の活動報告—
飛澤 貴子 JA 秋田厚生連 大曲厚生医療センター
- 21-6 整形外科医師と皮膚・排泄ケア特定認定看護師の協働における創傷管理の成果と課題
笹原 綾 社会医療法人財団大和会武蔵村山病院

会議棟 第8会場 (1F:小会議室1)**ハンズオンセミナー 3 8:40~9:40**

P.424

難治性創傷管理の実践～Wound hygiene ステップ4 創傷の被覆とは～

演者：増川美加子 コンバテック ジャパン株式会社

宮崎 啓子 コンバテック ジャパン株式会社

赤井澤淳子 コンバテック ジャパン株式会社

青木 詩恵 コンバテック ジャパン株式会社

辰島 美和 コンバテック ジャパン株式会社

共催：コンバテック ジャパン株式会社

会議棟 第9会場 (1F:小会議室2)**ハンズオンセミナー 4 10:10~11:10**

P.425

二品系装具を使いこなそう!!**ストーマ造設後の生活を長期的な視点から捉えた装具選択**

演者：赤井澤淳子 コンバテック ジャパン株式会社

青木 詩恵 コンバテック ジャパン株式会社

辰島 美和 コンバテック ジャパン株式会社

増川美加子 コンバテック ジャパン株式会社

宮崎 啓子 コンバテック ジャパン株式会社

共催：コンバテック ジャパン株式会社

一般演題 (示説) 5 ストーマケア 1 9:10~10:06

P.404~407

座長：柴崎 真澄 サンセイ医機株式会社 営業本部 オストミー担当
工藤 礼子 国立がん研究センター中央病院 看護部

- P5-1 緊急ストーマ造設患者の意思を尊重したケア指導からみえたもの
後藤 千夏 岩手県立胆沢病院 看護部
- P5-2 オストミービジターの術前訪問を実施しての報告
岩崎 優 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院
- P5-3 聴覚障害のある患者のストーマケア習得に向けた関わり
小笠原春美 岩手県立二戸病院
- P5-4 ストーマ装具外しを繰り返す高次脳機能障害のある患者に難渋した症例
河村淳一郎 京都民医連あすかい病院
- P5-5 Pathergy が誘発されたストーマ周囲壊疽性膿皮症の一例
高橋 咲子 岩手医科大学附属内丸メディカルセンター
- P5-6 ストーマ近接部に生じた癌浸潤潰瘍に対するストーマ管理の一経験
菊地ひろみ 太田総合病院附属太田西ノ内病院
- P5-7 腹壁・ストーマの形状変化により皮膚障害が生じ管理困難となった 1 例
菅野 恵子 一般財団法人 大原記念財団 大原総合病院 看護部

座長：森山やよい 佐世保市総合医療センター 看護部 救命救急
藤原恵美子 淀川キリスト教病院 看護部

- P6-1 ストーマ造設後、腹壁癒痕ヘルニアを合併し、オーダーベルト作成・装着により QOL の改善が得られた 1 例
風巻 裕子 草加市立病院 看護部
- P6-2 ストーマ狭窄に対して食道拡張バルーンを使用し維持管理できた一症例
松本 貴司 社会医療法人 博愛会 菅間記念病院
- P6-3 複数の難治性瘻孔に対する管理の一例
村田 博子 東北医科薬科大学病院 看護部
- P6-4 全胃温存臍頭十二指腸切除術後、難治性小腸皮膚瘻となった局所管理の一例
星 恭子 東北医科薬科大学病院 看護部
- P6-5 食道癌二期再建後の食道瘻管理への介入
伏見 倫子 東北大学病院 看護部
- P6-6 新規入浴用シールの目隠し機能、皮膚バリア性の評価
菅原 瑞希 アルケア株式会社
- P6-7 新規ストーマ用装具固定テープの伸張性・皮膚バリア性の評価
加藤 大智 アルケア株式会社

座長：杉本はるみ 社会医療法人仁友会南松山病院 看護部
多田千和子 京都橘大学 看護教育研修センター

- P7-1 多職種での褥瘡回診開始までの取り組み
色川 奈々 東北医科薬科大学若林病院 看護部
- P7-2 A 病院入退院支援センターにおける WOCN 在籍によるオリエンテーション効果
大向由克子 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 地域医療連携室
- P7-3 WOCN と訪問看護師の同行訪問の継続によりポケットを伴う褥瘡が治癒した 1 症例
西村 恭子 島根県立中央病院/こころ訪問看護ステーション
- P7-4 同行訪問後の報告に医療介護 SNS を活用した効果と課題
矢野 綾那 岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃厚生病院
- P7-5 皮膚・排泄ケア認定看護師の同行訪問・遠隔コンサルテーションによる訪問看護師の意識調査
室岡 陽子 武蔵野大学看護学部看護学科 成人看護学
- P7-6 デブリードマンの回数を増やしたことで重症化を予防できた放射線潰瘍の 1 例
多氣 真弓 社会福祉法人 京都社会事業財団 西陣病院
- P7-7 特定認定看護師の活動についてアンケート調査から分かったこと
菊池 勝子 岩手県立胆沢病院

座長：菅野 恵美 東北大学大学院 医学系研究科 看護技術開発学分野
玉井 奈緒 横浜市立大学医学部 看護学科

- P8-1 創傷ケアに関する知識・看護の質向上に向けた取り組み
遠藤 彩香 公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院
- P8-2 DESIGN-R[®]評価に対する看護師の苦手意識と DESIGN-R[®]評価結果の関係性に関する調査
中山句仁子 秋田県厚生農業協同組合連合会 北秋田市民病院 看護部
- P8-3 本邦における看護師のエコー使用状況と今後の課題
松田 常美 奈良県立医科大学医学部看護学科 成人急性期看護学
- P8-4 COVID-19 パンデミック下の非臨地実習に WOCN が参画することによる可能性と影響：SCAT 分析による質的研究
平岡 未帆 東京医療保健大学立川看護学部成人・老年看護学領域
- P8-5 本邦の重症急性呼吸窮迫症候群に対する腹臥位療法時の褥瘡予防・管理に関する文献検討
横野 知江 新潟大学医学部保健学科/新潟大学大学院保健学研究科
- P8-6 WOCN と看護師の連携によるストーマ保有者への柔軟な支援のための検討
佐藤 文 川崎市立看護大学 看護学部